

# 熊取町議会委員会会議録

## 議会改革検討特別委員会

令和 7 年 12 月 10 日開催

熊 取 町 議 会

目

次

[議会改革検討特別委員会]  
議会活動の拡充について ..... 1

## 議会改革検討特別委員会

月 日 令和7年12月10日（水曜）招集

場 所 熊取町役場議場

出席委員	委員長	文野慎治	副委員長	坂上昌史
	委員	石井一彰	委員	江川慶子
	委員	二見裕子	委員	田中圭介

欠席委員 なし

事務局	議会事務局長	木村直義	書記	阪上高廣
-----	--------	------	----	------

### 付議審査事件

#### 1) 議会活動の拡充について

委員長（文野慎治君）皆さん、こんにちは。

本特別委員会にご出席を賜り、ありがとうございます。

委員会の開会に当たりまして、私から一言ご挨拶申し上げます。

本特別委員会は、令和元年9月30日に設置し、令和5年の町議会議員選挙後に改めて本特別委員会を設置し、河合委員長の下、議員報酬並びに議員定数に加え、今後の議会活動についても議論を重ねながら議会改革の検討を進め、令和7年2月20日に本特別委員会を開催し、議員報酬並びに議員定数について審議したところでございますが、去る5月15日開催の第1回臨時会において委員の交代があり、私がこの特別委員会の委員長を務めさせていただくこととなりました。

私たちの任期も2年を切っており、残された任期の中でしっかりと議論を重ね、より開かれた議会、町民の皆様と共に歩む機会を目指し、議会改革へつなげる結果を出すことがこの委員会に求められている責務であると考えております。

本委員会委員に新たな議員も就任いただいておりますが、議会改革に当たっては全委員にご尽力を賜るとともに、各委員から忌憚のない意見を出していただきながら、実りある議論を尽くし、議会活動の拡充について本日は具体案を検討してまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

本特別委員会では、理事者の出席は求めておりません。

ただいまの出席委員は6名全員であります。定足数に達しておりますので、ただいまから議会改革検討特別委員会を開会いたします。

（「15時30分」開会）

委員長（文野慎治君）本日の案件は、議会活動の拡充についての件であります。

なお、発言される方は、挙手の上、指名された後、起立し、マイクの赤いランプが点灯した後に発言いただきますようお願いいたします。

それでは、案件1、議会活動の拡充についてご審議いただきたいと思っております。

先ほどのご挨拶でも申し上げましたが、熊取町議会基本条例に基づき、より開かれた議会、町民の皆様と共に歩む議会を目指し、新たな議会活動についてご意見やご考えを承りたいと思っております。

提案等ございませんか。坂上昌史副委員長。

委員（坂上昌史君）私からはSNSの活用を提案したいと思います。

具体的にはインスタグラムなどなんですけれども、本会議以外にも議員は議会として様々な活動をしておりますので、それを議会独自のチャンネルで発信してはどうかと思います。

以上です。

委員長（文野慎治君）ほかにご意見はありませんか。二見委員。

委員（二見裕子君）私からは相談会というところで、熊取町議会として実施するのはどうかというところを提案させていただきたいと思います。各種イベント等、熊取町議会として議員がしっかりと皆様の声を聞く場というところを相談会という形でやるのはいかがかなというふうに思っております。

そのときに、熊取町の議会はユーチューブをやっておりますので、これもしっかりとQRコードを入れたのぼりを立てながら、熊取町議会、熊取町議員、ここで相談会やっていますよというのもしっかりと見せていきたいなというふうに思います。それと、また相談会でいただいた課題などを基に、必要に応じてになりますけれど、政策検討、また立案に、議会としてのそういうものにもしっかりとつなげていければなというふうに思っております。

委員長（文野慎治君）ありがとうございます。ほかに意見はありませんか。田中委員。

委員（田中圭介君）僕はSNSの活用が1点です。SNSの活用というのはほかの市町でもやっておられます。問題点も多々あるので、一番コストはまずかからないのが魅力的かなと思われれます。

もう1点は、以前、熊取町議会でもやっておられたと聞いております子ども議会。子どもをこの議場で議員の代わりにやってもらうというような。それで、我々議員が理事者、そしてまた町長等加わってもらって議会に興味を持ってもらうというような子ども議会というのをやってはどうかと思います。

以上です。

委員長（文野慎治君）ありがとうございます。ほかにございせんか。

SNSの問題であったり、見える化、ホームページということにもつながるかも分かりませんが、様々なご意見が過去からも積み残してあるわけでありましたが、本委員会再開をしたということで一つ一つ議論を積み重ねていけたらなというふうに考えております。

会の進行の仕方でありまして、今出たテーマは1つとして、またそれぞれの発言の中で関連して、それから発展してこういう改革はどうだろうかと、こういう取組はどうだろうかと、そういったことも出てくるというふうに思いますので、堅苦しくやり取りではなくて率直な今までの議員活動の中で経験したことを議会改革につながる方向性を、皆さん共通の課題として進めていけたらなというふうに考えております。

SNSであったり、あるいは相談会の実施ということについて、まず以前からの経過も含めて、相談会の実施とSNSの活用ということも今も出てまいりましたけれども、今日はまずはこの2点についてから議論に入っていけたらなというふうに委員長として判断をしておりますが、それよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

委員長（文野慎治君）それでは、相談会という実施に向けて質問やご意見はございませんでしょうか。

石井委員。

委員（石井一彰君）私ども大阪維新の会熊取としましては、今、熊取公明党の二見委員がおっしゃいました相談会の実施、これが非常に興味を持った次第です。

以上です。

委員長（文野慎治君）ほかにございせんか。二見委員。

委員（二見裕子君）今、石井委員のほうから言っていただきましたので、先ほども話させていただきましたけれど、まず相談会として開催をして、やっぱり議員活動というのを住民の皆様にアピールできるように考えての相談会というところで、できれば町の開催のイベントのときにブースとして出していくことをすると、町のイベントに行くとき議員がいてということで、それも分かるように、のぼりというのを作りまして、そこに録画配信していますので、議会を身近に感じていただけるようにQRコードがついていけば、すぐにその場で携帯で読み込んでももらえますので、そういうものもしっかりと作りながらやっていってはどうかというところと、あと、いただいたお声というのをしっかりと議員は政策検討、立案というのが仕事かなと思っておりますので、町としての課題を

しっかりと立案につなげていきたいなというふうに思います。その中で、議会だよりの中でもコーナーを設けて、議会としてこういうふうに政策検討、立案をしていった、できたんだという結果も知らせていければなというふうに考えております。

以上です。

委員長（文野慎治君）ありがとうございました。ほかにご意見ありますか。江川委員。

委員（江川慶子君）今、相談会のことですいろいろなお話が寄ってきているんですけども、議員が行うということでは、議員やら議事を身近に感じてもらえるようにするようなことが大事だと感じています。議員も議会も見えるような形で進められたらいいかなと思っております。

委員長（文野慎治君）ほかに。石井委員。

委員（石井一彰君）そのためにも、私ら 維新の会 としては、極力毎日のように各党派で担当して対応してはどうかと思います。

委員長（文野慎治君）二見委員。

委員（二見裕子君）以前にも、検討委員会をしたときに、そういった毎日各党派で担当を決めて当番制的に議会にいるのはどうかというふうな提案もありましたが、実際相談をお聞きすることはできませんが、すぐに答えられない課題等あったりして、毎日誰かがいるというのは理想ではありますけれども、集約して相談会的なところで受けていくというのが理想かなというふうに考えております。

委員長（文野慎治君）ありがとうございました。相談会のイメージというかそういう点でちょっと意見が出ていますが、ほかにありませんか。田中委員。

委員（田中圭介君）相談会についてはもちろん賛成でございますが、先ほど二見委員より意見があった町のイベントに抱き合わせでブースを出すということに関しては、少し考えたほうがいいのか。なぜかという、町のこの間の日曜日ですかね、やっていた農業祭のブースを1つやっぱり確保するのもなかなか難しい、文化祭等のブースを1ついただくのも争奪戦になっておるところも聞いておるので、私自身はやるとするならば議会単独での開催が望ましいかなと思います。

以上です。

委員長（文野慎治君）ほかにご意見ありませんか。坂上昌史副委員長。

委員（坂上昌史君）町のイベントに合わせて開催するのはいいと思うんですけど、そうなった場合はテントとか机とか用意しないといけないのかなということと、主催者にちょっとお願いしないといけないところが一つ課題になるかなと思います。

以上です。

委員長（文野慎治君）様々なご意見出て、イメージがちょっとずつ湧いてくるような気がするんですが、ほかにご意見ありませんか。江川委員。

委員（江川慶子君）その場を相談会という形にしたならば、なかなか相談というのは、気軽なことだったら相談しやすいんですけども、あんまり大きくしてほしくないような家族的なことやら慎重な相談というのがありますので、そういう広いところで知られたくないという人もいるのではないかなというふうに感じます。

委員長（文野慎治君）二見委員。

委員（二見裕子君）実際本当にご相談いただく方というのは、人に知られたくないというものもあるかなと思うんですけど、今回の提案させてもらっている相談会につきましては、まずは議員としてしっかりと前に出ていくということが重要なところかなというふうに思っていますので、そういう堅いイメージというよりは、まずは議員を知ってもらい、その上で本当にいるんなご相談が来たときは、日にちを変えて、また場所も変えてしっかりと承るということもできるんじゃないかなというふうに思います。

委員長（文野慎治君）イメージがそれぞれ堅いイメージと開かれた、僕はいつも挨拶でも皆さんには言っているんだけど、開かれた議会ということ常を枕言葉をつけているんですけども、やはり議会が住民の皆さんのところへ出向いてというか、なかなかそれは完璧にはできませんけれど、あ

らゆる機会を通じてどんなところでも議員がいて話聞けますよというようなイメージを、相談をしているからあの人が何か困っていることあるんやろかじゃなくて、そういう中からこういう機会にこういうことを相談したかったんやというような話が出るような僕はイメージを持っているんですけどね。江川委員が先ほどおっしゃったような形では避けると、そういう雰囲気は避けて、何か実現しやすいような敷居の低い、そういうふうな、同じやるならそういう取組がいいのかなというふうに私、議長としては考えているところであります。熊取町議会がそういう取組をしているんだということが一番大事なことでないかなというふうに考えております。

すみません、ほかに。石井委員。

委員（石井一彰君）私も今、文野委員長がおっしゃったとおりに開かれた議会の取組としてもうぜひやるべきかなと。本当に座談会形式でカジュアルな感じでお越しいただけるようなものを週1回でも結構なんで、取りあえずまずやってみることが大事かなと、そのように思っております。

委員長（文野慎治君）二見委員。

委員（二見裕子君）その今開かれた議会というところでありますので、相談会という形で私は進めていくべきかなというふうに思っております。のぼりを立てて、まずは議員が身近にいてるんだと、やっぱり議員を知らない方もいらっしゃるので、そののぼりがあることで議員のことを知っていただく、また、知らない方につながってもらえる。目的としては相談、この窓口というんですか、を広げていくということも重要かなと思います。試行的にまずはやってみて、実践をしてみて、またしっかりと定期的なものというふうな形でまずは取り組んでいくということが大事じゃないかなというふうに私は考えております。

委員長（文野慎治君）ありがとうございます。ほかにないですか。

当初、ご意見で相談会というのとSNSというのが出ていたんで、SNSに関してのお考えについて各委員のご発言をお願いしたいと思います。いかかですか。特にないですか。石井委員。

委員（石井一彰君）今、私、個人的にもインスタであったりフェイスブックというSNSをやっております。だから、個人でやっているものと議会でやるものとの差別化がどうしたらいいかなというのがあります。ほかの議会でもこういうことやられているところもありますので、もうちょっとそういったところのものを研究してからでも遅いことはないのかなと、そのように思います。

委員長（文野慎治君）二見委員。

委員（二見裕子君）先ほど、坂上委員のほうからインスタグラムなどの活用ということでSNSの提案ございましたが、まず今、議員が誰でも書き込めるように議会として1本でやろうと思ったら、やっぱりなかなかそのあたりが難しいところで、アップの仕方というところが問題にはなってくるのかなというふうに思います。以前も、議会改革検討特別委員会のときにもSNSについては声は上がってきていましたけれど、なかなかどのSNSを使うかというところが実施していくにはまだまだちょっと合意形成していかないといけない部分がすごくあるのかなというふうに思っていますので、そのあたりがちょっと難しいのかなと考えております。

委員長（文野慎治君）ありがとうございます。ほかに。坂上昌史副委員長。

委員（坂上昌史君）私もインスタグラムというのを提案したんですけども、その発信内容の文言とかというのは十分注意しないといけないというのは認識していますので、その辺は今後検討していったらいいのかなというところは思っています。

以上です。

委員長（文野慎治君）田中委員。

委員（田中圭介君）私も議会を分かっていたくためにはSNSという活用に対しては、やってみたらいいかなというのはあります。しかし、問題点がやはり何点かありまして、まず、一回始めたものというのがなかなかやめられなくなったり、先ほど言われていたとおり誰が担当するのかとか、やはり石井委員が言われていたように私も個人的にSNSの発信はしていますけれど、していない議員もおられて。これ得意、不得意というのが分かれてくると思うので、やはりやるんだしたら全員

振り分けてやらなければいけないのかというふうな形で思います。

あと、ほかの市町、また自分がやっていたら分かると思うんですが、SNSというのはフォロワーがいなければ、多くなければ、ただの一方通行の発信。やはりフォロワーが増えないと発信というのが偏った発信、一方通行的な発信になっていくかなと思うので、その辺をどういうふうを増やしていったらいいのかというのを、ほかの市町等々見てもやはりそこが苦戦しているところと思うので、その辺はちょっと検討していったらいいんじゃないかなと思います。

以上です。

委員長（文野慎治君）江川委員。

委員（江川慶子君）皆さんと同じ意見なんですけれど、ちょっとすぐには取りかかるのは大変難しいかなと思います。いずれは、議会の傍聴の仕方とか議会の仕組みなどシリーズで動画を作成して、分かりやすく公開するというのもできればいいなというふうに感じているところですが、今すぐSNSをどうするかというのはちょっと具体的には今浮かんでいないです。難しいかなと。

委員長（文野慎治君）ありがとうございます。相談会の実施ということとSNSの活用という2つが出てまいりました。歴史的にも議会の中で住民の方との距離あるいは議会に関心を向けていただく、議会の活動を理解していただく、そういったときには必ずこの2つは出てきて、どうしてもやはり私の感想としても、SNSについて、相談会の実施ということに比べるとかなりハードルが高いし、今ご意見もいただいたように、きっちりそれが返せる体制が議員側も構築するのが大変だし、時間もかかるかなというふうには実は思っています。そういった意味で今考えていただきますと、我々の任期も2年を切っておりまして、議会改革という形はいつもテーマには出ている中で、なかなか本格実施というところまではたどり着いていない状況を経験しております。

そういった意味で、今こうしてこのメンバーで今の任期中に議会改革の見える化をやっていくということとスタートした委員会でございますので、まずは二兎を追わずに、議会の見える化というようなことのSNSという活用が時代的にあるんですが、まずはやはり議員を身近に知っていただいて議会に関心を持っていただくということを優先する意味で、相談会の実施という形を今この時点で再開した特別委員会の使命としたらまずそれから手をつけて、我々の任期中に一つの形をつくっていくと、そういう制度をつくっていくと、住民の方に認知していただくというところへ持っていったらどうかなというのが、私、委員長としての思いでございます。

この点について、ですから私の提案は1つ、まずは相談会の実施ということに絞ってこの検討委員会を今後も進めていけたらなというふうに思っているんですが、そういった件に関してのご意見はいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

全員の方から異議なしというお声をいただきました。

そういった意味で、まずはSNSの問題も研究もそれぞれの議員の皆さんでやっていただきながら、まずはこのメンバーで残りの任期の中で相談会を実施するという形で本日まずは決めたいというふうに思いますので、それでよろしく願いいたします。

ありがとうございます。

それでは、相談会を開催するに当たりまして、どのような形で開催すべきかについてご意見を承りたいと思います。石井委員。

委員（石井一彰君）どうしても、相談会という名前でやると堅苦しく感じられると思いますので、議会オープンデイとかというそういった名前で開催してみたいはいかがでしょうか。

以上です。

委員長（文野慎治君）ほかに。坂上昌史副委員長。

委員（坂上昌史君）私からは、直近で言いますと21日に開催される「未来へノ地図」で議会でもこの議場を使って催しするんですけれども、そういったイベントに合わせて今後開催してはどうかと思います。

委員長（文野慎治君）ほかにいかがですか。江川委員。

委員（江川慶子君）議会基本条例というのがやっぱり一番頭にありますので、議会報告会とか意見交換会なども含めた議会で行うカフェ的な軽い感じの位置づけではどうかなというふうに感じております。一定議員がするので報告とか交換会、相手がそのようなことを求めてきたら、それに対応できるようなことも必要かなと思っております。

委員長（文野慎治君）ほかに。二見委員。

委員（二見裕子君）先ほどから相談会というところでいろいろ発言させていただいているんですけども、まずは気軽に来てもらえる場というところが重要かなと思いますので、このあたりは日時とか固定をして開催をしてみるというところと、ずっと言っていますけれど、のぼりの作成は必要かな、目に見えて旗が立っているというのはすごい必要かなと思っております。

委員長（文野慎治君）ありがとうございます。ほかに。田中委員。

委員（田中圭介君）その開催についてなんですが、やはり先ほども申しましたように、町のイベント等に便乗するよりは、やはり議会独自で開催をしていったほうがいいんじゃないかなと思います。以上です。

委員長（文野慎治君）各会派から意見いただきました。今回検討している議会活動の拡充は、先ほども冒頭申し上げましたけれども、一人でも多くの町民の皆様にも町議会議員を身近に感じてもらえる機会の創出、議会活動の活性化と充実を図ることを目的としていると思います。今ご提案いただいたように、気楽に来てもらえる場として日時、場所を決めて、まずこの相談会を始めてみて、改善、検討すべき点があれば議員全員で検討して、また試行錯誤し、よりよいものにしていけばいいのではないかなというふうに私は考えておるところでございます。

表現はともかくとして、私の意図は皆さんうなずいていただいているので、ご理解いただきご賛同いただいているものと思っているんですけども、この趣旨に基づいて相談会という名称を今使いますけれども、開催するに当たって、より具体的な事項についてご意見を承れたらなというふうに思います。

この相談会の名称、開催時期、議員の体制、開催場所その他必要な事項について各委員のご意見を承りたいと思います。石井委員。

委員（石井一彰君）私ども大阪維新の会は、名称については先ほどもお話しさせていただいた議会オープンデイという名前がいいかなと思っております。開催時期に関しては月2回ほどはやれたらなと思います。議員の体制については会派で持ち回りでよいかなと。開催場所についても正副議長室を利用すればいいのではないかなと思っております。

あと、その他としましてはなかなかお越しいただけない、時間の都合でお越しいただけない方もおられたりすると思いますので、ネットですね、Zoomとかを利用した形で開催するのも案かなと思ったりしております。

以上です。

委員長（文野慎治君）それぞれの会派で考え。坂上昌史副委員長。

委員（坂上昌史君）名称については、熊取まちトークみたいなことがいいかなと思います。開催時期ですけれども、年2回程度。まずそこから始めてみてはどうかと。年2回なので議員構成としては6人、半分ずつです。先ほども申しましたように、開催場所は町のイベントに合わせて開催してはどうかと思います。

委員長（文野慎治君）江川委員。

委員（江川慶子君）私どものほうは、名称は議会カフェで、開催は議会に合わせて2回から4回。定例会、議会が終わった後ぐらいがいかかなと考えております。もし2回ならば予算、決算、3月、9月終わってから。4回ならば議会の終わった後の都度都度。各会派で1人ずつ出させていただいたら公平な感じなのかなと感じております。開催場所については議会に来てもらうという、この議場を見てもらうというのもいいのかなと思って、議場だとか控室辺りに来ていただくのがいいのかなと

今は考えております。

委員長（文野慎治君）二見委員。

委員（二見裕子君）名称については、うちも議会カフェ（議員と気軽に話せる場）。カフェといってもお茶を飲むのがカフェというイメージでもなく、集まってくるというような意味もあるのかなというふうに思っています。開催時期につきましては議会のない月で月1回、議会日よりで周知する場合に次の発行までにその分を掲載できるような形でいいんじゃないかなと思っております。時間帯は午前なのか午後なのか、様々これは考えていけばいいのかなというふうに思っています。議員構成としては会派ごと2名体制ぐらいの当番制でということと、開催場所につきましては、かむかむプラザの1階の文化・交流ラウンジ。ここは結構人がいらっしゃるときが多いので、そこでしっかりとアピールができるというふうに思っています。

あと、その他必要な事項につきましては、先ほどずっと言っていますけれど、のぼり、議会YouTubeのQRを付けたものというのは作成は必要かなというふうに思います。あと、お茶とかをどうするのかというのは考えないといけないかなと思っています。周知の方法としては、町のホームページのイベントカレンダーへも掲載をしてもらえればというふうに思います。あと、実施会ごとの報告書を作成して、皆さんで共有できるようなものの報告書というのは必要かなというふうに思っております。

委員長（文野慎治君）ありがとうございます。田中委員。

委員（田中圭介君）名称のほうは議会カフェというのが望ましいかなと思います。また、開催の回数については年に4回から6回。1回につき2時間程度開催をしたらいいかなと思います。何名ですかというのは4回なら4班に分かれたりとか、3班から4班に分けて、会派関係なくいろいろな議員で構成していったほうが、やはり会派で質問等々、カフェ等々で皆さんからご意見をいただいたときには、ちょっと偏った意見が出てしまうかなというところもあるので、議会会派関係なく3名から4名ぐらいの1班が1回につき年間4回から6回で構成したらいいかなと思います。場所については、かむかむプラザもしくは煉瓦館の講義室等々を使っていったらいいかなと思います。

以上です。

委員長（文野慎治君）ありがとうございます。

私どもの熊愛は、名称は議会カフェ。開催は月1。議員構成は2名体制。町有施設、今かむかむプラザや煉瓦館が出ているこういうイメージです。

一応、全会派の考え方が出されてまいりました。その他の部分で、こういうことももう少し議会カフェなり、この名称はまた決めていきますけれども、再度こういうのも気をつけないけないんじゃないかとかいうようなお気づきになっているような点、まだあれば今発言いただけたらありがたいです。ありませんね。

委員皆様方、各会派から具体案についてご提案いただきましたので、名称、開催時期、議員体制、開催場所その他必要な事項についてこの場でまとめていきたいというふうに思います。

まず、名称についてであります。ご提案の中で最も多かった名称は議会カフェでございましたので、議会カフェでいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

よろしいですか。ご異議ないようですので、名称については議会カフェといたします。

次に、開催時期についてです。開催時期につきましては、月に1回から2回、年2回から議会のない月の年8回とご提案され、様々でございました。まずは、くまもり議会だよりの発行月に当たる2月、5月、8月、11月の年4回から始めてみてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。ご異議ないようですので、開催時期については令和8年は4回開催することとし、くまもり議会だよりの発行月となる令和8年2月、5月、8月、11月といたします。

次に、議員体制についてでございますが、様々なご提案をいただきましたが、開催時期を令和8

年は4回と決定しましたので、12名の議員が均等に対応するため、1回当たり3名ずつとしてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。ご異議ないようでございますので、議員体制については1回3名ずつで対応することといたします。

次に、開催場所についてでございますが、具体的には、かむかむプラザ、煉瓦館、議場、正副議長室などご提案をいただきましたが、日常的に町民の方が利用されている、かむかむプラザの1階正面入り口横の文化・交流ラウンジで始めてみてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。ご異議ないようでございますので、開催場所については、かむかむプラザ文化・交流ラウンジといたします。

続きまして、議会カフェの開催に当たり、ただいま決定しました件以外に運用に当たり必要な事項や確認事項など、今お気づきの点がございましたら、ご意見、ご提案をいただきたいと思っております。石井委員。

委員(石井一彰君)運用ですが、その相談内容に関しては議員個人が対応するのではなくて、しっかりと記録と整理をして議会全体で共有するようにしたらいいかなと思います。

以上です。

委員長(文野慎治君)ありがとうございます。ほかに。田中委員。

委員(田中圭介君)来られて、また参加された町民の皆さんのご意見等々の対応や検討の必要な事項に関しては、また別途全議員で協議していけばいいかなと思います。

委員長(文野慎治君)ほかに。二見委員。

委員(二見裕子君)何度も言わせていただいていますけれど、まず目印というところでのぼりというのは作成をしてはどうかと思います。

委員長(文野慎治君)ありがとうございます。江川委員。

委員(江川慶子君)開催に当たり必要な経費、例えばのぼりだとかお茶、あめを出すのか、その辺のことも含めまして費用が必要になりますので、全会派の政務活動費から人数分で割って均等に支出してはどうかでしょうか。

委員長(文野慎治君)ありがとうございます。ほかにございますか。坂上昌史副委員長。

委員(坂上昌史君)お答えすることとかもあると思うので、個人情報をお預かりすることがあると思いますので、個人情報の取扱いについては熊取町議会の個人情報の保護に関する条例に基づいて取り扱えばいいと思います。

以上です。

委員長(文野慎治君)ありがとうございます。様々ご意見いただきまして、ありがとうございます。

ただいまのご意見をまとめます。

1点目、町民の声などは議員全員で共有する。2点目、対応検討の必要な事項は別途全議員で協議する。3点目、目印としてのぼりを作成する。4点目、開催に当たり必要な経費は全会派の政務活動費から均等に支出する。最後に5点目として、個人情報の取扱いについては熊取町議会の個人情報の保護に関する条例等に基づき対応する。

議会カフェの開催に当たり、以上のとおり運用することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議がございませんので、運用等につきましては以上のとおりといたします。

それでは、以上、議会カフェについて決定したとおり開催いたしたいと思っておりますが、令和8年2月発行のくまもり議会だより72号で第1回目の開催日時についてお知らせすることといたしたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議ありませんので、議会カフェの開催に関する詳細はくまもり議会だよりでお知らせすることといたします。

以上で、本日の案件は終了いたしました。

その他何かあれば承ります。ございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、以上で議会改革検討特別委員会を閉会いたします。皆様、大変お疲れさまでした。

---

(「16時14分」閉会)

---

以上の委員会の次第は議会事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

議会改革検討特別委員会委員長

文野慎治